

2. 企業に「稼ぐ力」を！

商工会議所の仕事は、やる気と能力を持ち、創意工夫をしながら果敢に挑戦する働く人たちが、その頑張りに応じて報われる“ビジネス環境”を、行政や関係団体と連携しながら整備していくことです。

会員企業の「稼ぐ力」を強化するためには、イノベーションの加速が必要であり、単なる経営改善にとどまらず、新技術や新機軸によってビジネスモデルの革新を連動させることが大切です。このことから、熱い思いを持って、絶え間ないイノベーションへの挑戦や人材育成、技術承継などに取り組む会員企業に対して、これを守り育てる立場から、国・府・市などの行政機関や関係団体と連携を密にしながら総合的な支援に努めます。

また、販売促進や顧客獲得、ICTによる会計管理などに役立つ各種セミナーの開催を始め、消費税転嫁対策事業として個別相談会などの様々な取り組みを行います。

さらに、創業者の発掘や増加を図るために、希望者を対象とした創業塾や創業後のフォローアップを行います。

商店街の賑わいを取り戻すためには、これまでとは発想を変えて、高齢者に優しいゾーンとして「買い物をする楽しみ」「歩くことで健康」「会話が弾むことで頭スッキリ」を提供できる「まちなか居住」を検討する段階に来ており、ここから商店街を再生したいと考えています。

円滑な企業経営に欠かせない“資金調達”については、国・府・市の融資制度の紹介・斡旋を的確に行うほか、各種補助制度の紹介・斡旋に努めます。また、小規模事業者を対象に無担保・無保証人・低金利の小規模事業者経営改善資金（マル経融資）の普及に努めます。

会員企業に対しては、引き続き、経営支援員による

窓口相談・巡回指導をさらに積極的に取組み、会員のニーズに合ったきめ細かなサービスをスピーディーに提供してまいります。

3. 会議所パワーを全開に！

本年は、当所が昭和21年10月19日に創立されてから70周年の節目の年であり、11月にスタートする第32期役員・議員の選挙・選任の年でもあります。

地域唯一の総合経済団体として、地域全体から「より多くの支持と信頼がいただける商工会議所」を目指すためには、地域を代表するにふさわしい地域内の商工業者の高い支持基盤と、それに見合った組織・財政・運営基盤を確立し、常にイノベーションを図っていかねばなりません。

具体的には、①商工会議所の存在意義や役割、活動の内容と成果のPR ②ビジョンの共有、「舞鶴版地方創生である『総合戦略』」にあっては、商工会議所が一丸となつての取り組み ③会員増強・退会防止活動 ④全会員事業所訪問 ⑤新たな会員サービス事業の開発・推進 ⑥自主財源の確保 ⑦組織におけるコンプライアンス・危機管理の強化 ⑧事務局機能の強化・人材の育成等々に努めなくてはなりません。

それには役員・議員は、常に組織をリードし、組織・財政・運営基盤に責任を持ち、主体的に参画していたかなければなりません。

また、商工会議所活動の基盤であり会員が必ず所属する部会活動にあっては、会員の「稼ぐ力」を取り戻し「地域の富」の拡大に資する具体的かつスピード感のある活動の展開が必要な時にきています。

このため、事務局では、役員・議員・部会・委員会・青年部・女性会などの様々な活動をサポートできるように、職員の資質向上やチーム力の強化を含む機能のさらなる強化・充実に努めてまいります。

行 動 指 針

1. 行動する会議所、魅力ある会議所づくりを進める。
2. 府、市、他の経済団体との連携を強化する。
3. 部会、委員会活動を強化する。
4. 会員ニーズの把握と対応。